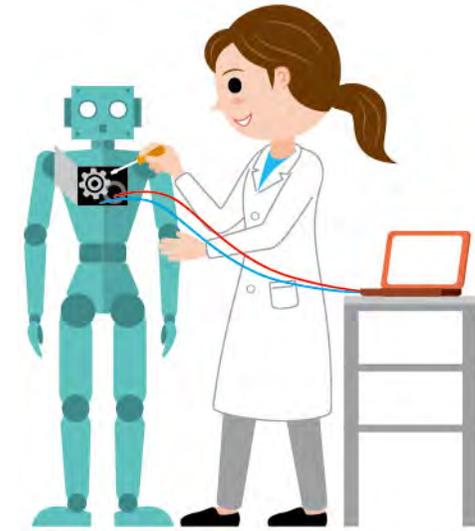

第5次男女共同参画基本計画を踏まえた 女性研究者の活躍促進に向けた取組について



令和3年6月10日
内閣府男女共同参画局



科学技術・学術における男女共同参画の推進に係る現状①

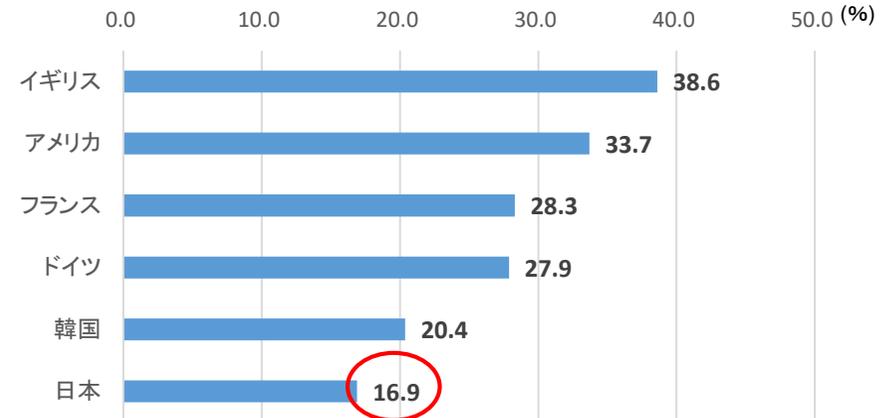
女性ノーベル賞受賞者数（自然科学分野）

	生理学・医学	物理学	化学	計
アメリカ	5	2	2	9
欧州	5	1	4	10
日本	0	0	0	0
その他	2	1	1	4
全体	12	4	7	23

※2020年までの受賞者を集計。

※その他の国は、イスラエル、オーストラリア、中国、カナダ。

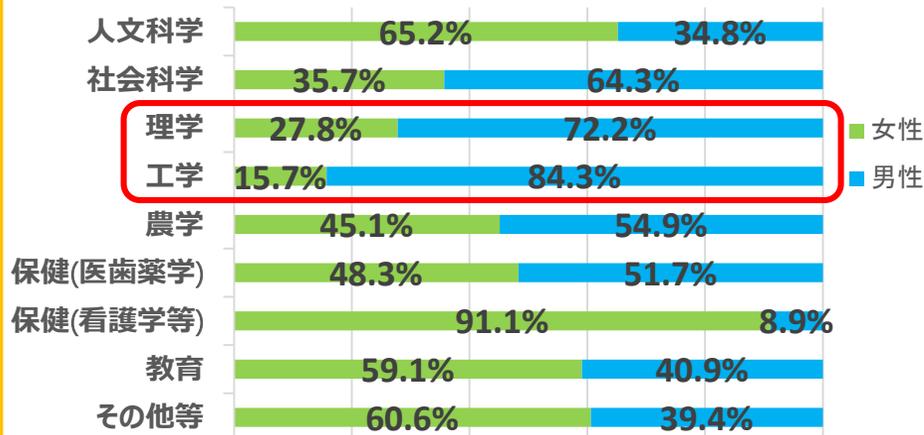
諸外国の研究者に占める女性割合



(出典) 総務省「科学技術研究調査」(令和2年),
OECD「Main Science and Technology Indicators」,

米国立科学財団(National Science Foundation: NSF)「Science and Engineering Indicators」

大学(学部)の学生に占める女性の割合



(出典) 文部科学省「令和2年度学校基本統計」

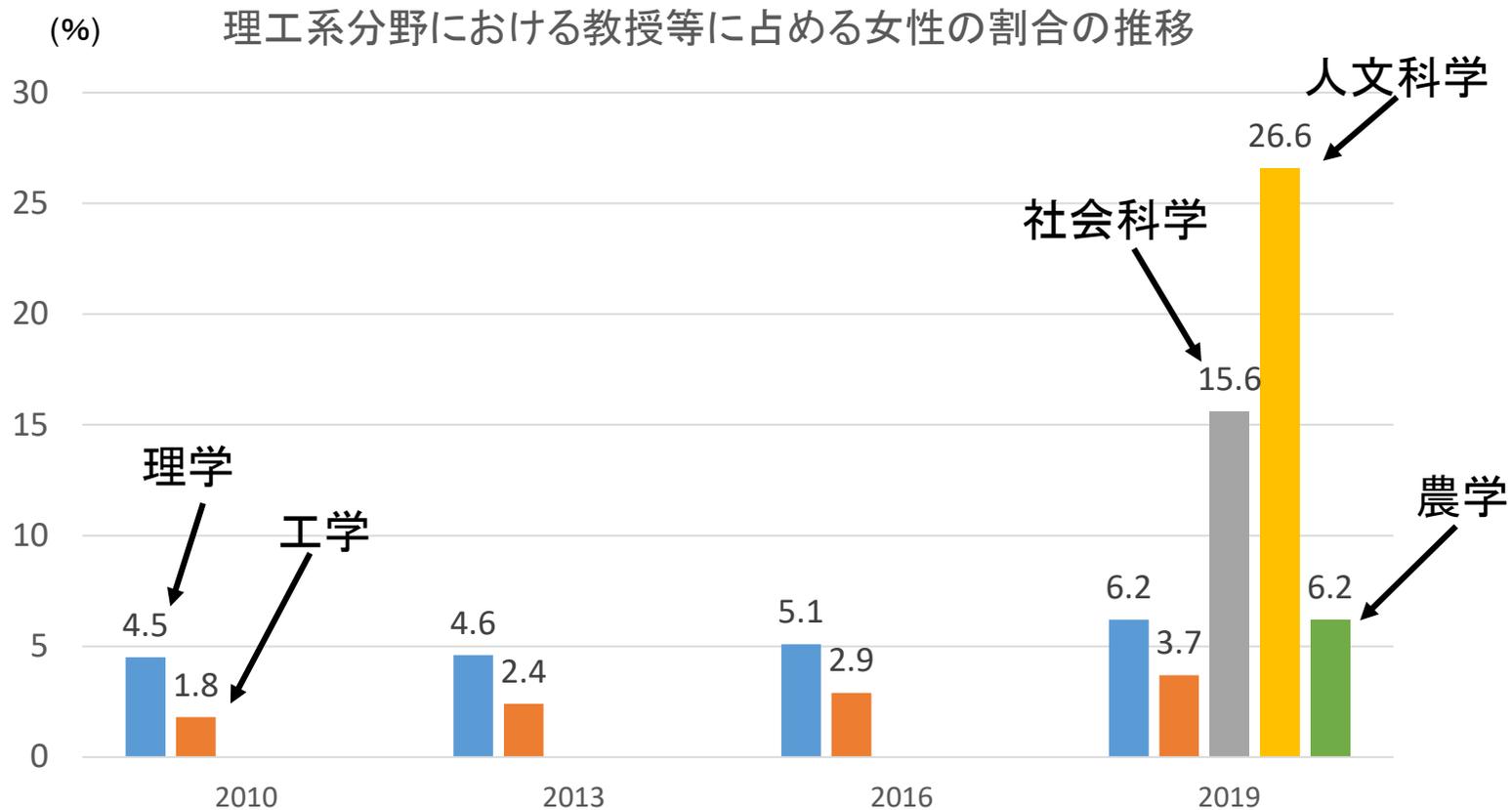
OECD生徒の学習到達度調査(PISA)2018年調査の国際比較

	日本			OECD平均		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
科学的リテラシー平均得点	529点	531点	528点	489点	487点	490点
数学的リテラシー平均得点	527点	532点	522点	489点	491点	487点
読解力平均得点	504点	493点	514点	487点	472点	502点

※OECD PISA(Programme for International Student Assessment)2018 より作成

科学技術・学術における男女共同参画の推進に係る現状②

大学・大学院等の理工系分野における教授等に占める女性の割合の推移



(備考) 1. 文部科学省「学校教員統計調査」(令和元年度)の調査票をもとに内閣府男女共同参画局作成。

2. 「大学・大学院等」は、大学の学部、大学院の研究科、附置研究所、学内共同教育研究施設、共同利用・共同研究拠点、附属病院、本部。

3. 「教授等」は、「学長」、「副学長」及び「教授」の合計。

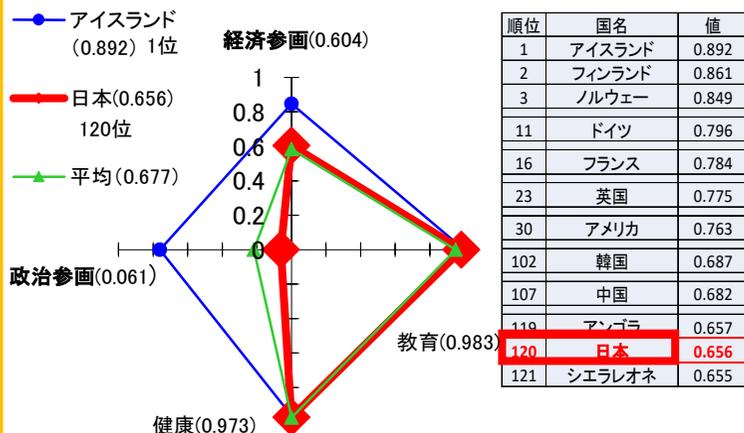
社会情勢の現状、予想される環境変化及び課題

- (1) **新型コロナウイルス感染症拡大による女性への影響**
- (2) **人口減少社会の本格化と未婚・単独世帯の増加**
- (3) **人生100年時代の到来**（女性の51.1%が90歳まで生存）
- (4) **法律・制度の整備**（働き方改革等）
- (5) **デジタル化社会への対応**（Society 5.0）
- (6) 国内外で高まる**女性に対する暴力根絶の社会運動**
- (7) 頻発する**大規模災害**（女性の視点からの防災）
- (8) **ジェンダー平等**に向けた世界的な潮流

政策・方針決定過程への女性の参画拡大

「世界経済フォーラム」(ダボス会議)

ジェンダー・ギャップ指数 2021 156か国中 120位

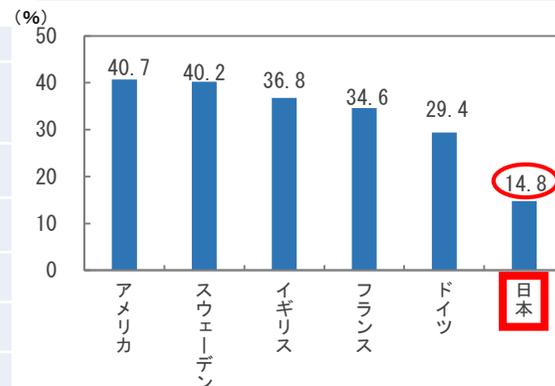


衆議院の女性議員比率

国名	割合(%)	クォータ制の状況
フランス	39.5	・法的候補者クォータ制 ・政党による自発的なクォータ制
イギリス	33.9	・政党による自発的なクォータ制
ドイツ	31.2	・政党による自発的なクォータ制
アメリカ	23.4	-
韓国	19.0	・法的候補者クォータ制
日本	9.9	-

(出典) 列国議会同盟(2020年10月時点)
下院又は一院制議会における女性議員割合。

管理的職業従事者に占める女性の割合



(出典) 日本の値は、総務省「労働力調査」。その他の国は、ILO 'ILOSTAT' (2020年11月時点)。いずれの国も2019年の値。

- ・「202030目標」：社会のあらゆる分野において、2020年までに、**指導的地位に女性が占める割合が、少なくとも30%程度となるよう期待する**（2003年に目標設定）
- ・この目標に向けて、**女性就業者数や上場企業女性役員数の増加等、道筋をつけてきたが**、全体として「30%」の水準に到達しそとは言えない状況。
- ・国際社会に目を向けると諸外国の推進スピードは速く、日本は遅れている。

<新しい目標>

- ◆ 2030年代には、誰もが性別を意識することなく活躍でき、**指導的地位にある人々の性別に偏りが無いような社会**となることを目指す。
- ◆ そのための**通過点**として、2020年代の可能な限り**早期に指導的地位に占める女性の割合が30%程度**となるよう目指して取組を進める。

・進捗が遅れている要因

政治分野（有権者の約52%は女性）

- ・立候補や議員活動と家庭生活との**両立が困難**
- ・**人材育成の機会**の不足
- ・候補者や政治家に対する**ハラスメント**

経済分野

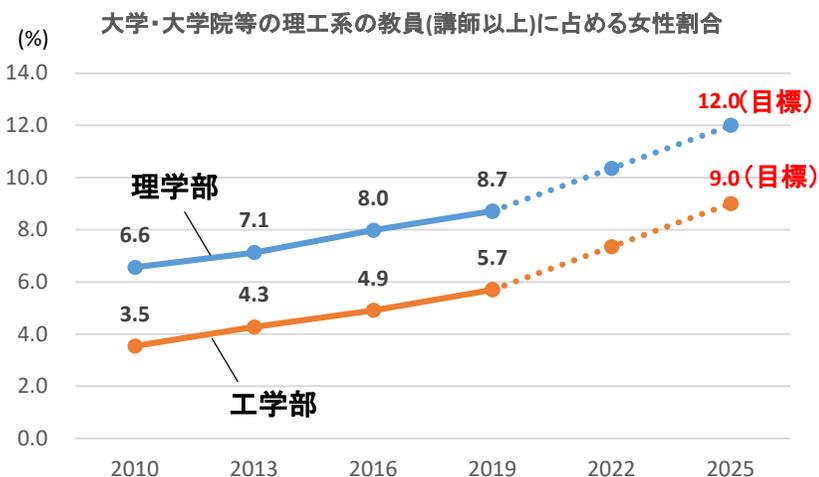
- ・管理職・役員への**パイプラインの構築**が途上
- ・**社会全体**
- ・固定的な**性別役割分担意識**

第4分野 科学技術・学術における男女共同参画の推進（抄）

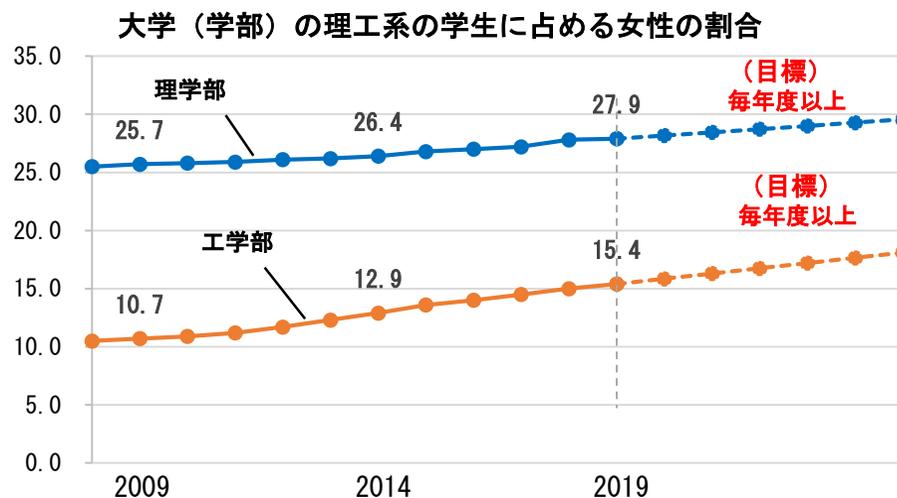
主な具体的取組と成果目標

- ・ 科学技術・学術関連機関の**理事長・学長・研究所所長の女性比率を把握し、公表**する。
- ・ 国が関与する**競争的研究費の採択条件に、事業の特性も踏まえつつ、男女共同参画の視点の有無と取組状況や、出産・育児・介護等に配慮した取組を評価する項目の設定**を進める。
- ・ 若手研究者の**ポスト拡大**に向けた施策や、若手研究者向けの**研究費等の採択**において、**育児・介護等により研究から一時的に離脱した者に対して配慮した応募要件**となるよう促す。
- ・ 大学や研究機関に対して、**アカデミックハラスメント**など各種ハラスメントの防止のための取組が進められるよう必要な情報提供等を行うなど、**各種ハラスメント防止等の周知徹底**を行う。また、学生等関係者も含めた防止対策の徹底を促進する。
- ・ 大学、研究機関、学術団体、企業等の協力の下、**女子児童・生徒、保護者及び教員**に対して、**理工系進路選択のメリット、理工系分野の仕事内容やキャリアに関する理解**を促すとともに、**無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の払しょく**に取り組み、**女子生徒の理工系進路選択を促進**する。

項目	現状	成果目標（期限）
大学の理工系の教員（講師以上）に占める女性の割合	理学系：8.0%、工学系：4.9% (2016年)	理学系：12.0%、工学系：9.0% (2025年)
大学（学部）の理工系の学生に占める女性の割合	理学部：27.9%、工学部：15.4% (2019年)	前年度以上 (毎年度)



資料出所：文部科学省「教員統計調査」
※資料出所は、実績値の出所を示すもの



資料出所：文部科学省「学校基本統計」(各年5月1日現在)
※資料出所は、実績値の出所を示すもの

理工チャレンジ (リコチャレ!) ~女子生徒等の理工系への進路選択を促進~



取組



夏のリコチャレ

- ・夏休み期間中、大学、企業、学術団体等がイベントを実施
- ・内閣府・文科省・経団連がサポート
- ・令和元年実績 100団体179イベント実施 約36,000名が参加

募集

リコチャレ応援団体

理工チャレンジの趣旨に賛同する
大学・企業・学術団体等 **808** 団体
令和3年4月現在

ウェブサイト

「理工チャレンジ」

- ・イベント情報
- ・ロールモデル情報
- ・団体からの応援メッセージ



理工系女子 応援ネットワーク会議

- ・理工系女子応援ネットワークに登録した団体が出席
- ・相互連携に向けた情報共有や取組方針を検討

理工系女子 応援ネットワーク

リコチャレ応援団体のうち、具体的な
支援を行っている団体
200 団体

令和3年4月現在

シンポジウム

- ・有識者や実際に活躍する女性研究者
- ・技術者(ロールモデル)による情報発信
- ・IT業界で活躍する女性(ロールモデル)提示等

「STEM Girls Ambassadors」によるロールモデルの紹介

調査研究 男女共同参画に配慮した中学生向け理数系教育に関する指導者啓発資料についての調査研究(令和2年度)



理工系のお仕事体感しよう!

夏のリコチャレ2021

さあ、この夏、ステキな理工系の未来を探しにいきませんか?!



内閣府・文部科学省・経団連共催



オンライン

北海道・東北

関東

中部

近畿

四国・中国

九州・沖縄

日程	イベント名	開催地	対象者	団体名	紹介ページ	取材対応
8月4日 (水) 8月19日 (木)	ライオンお仕事体験イベント【Online】 Girl's Summer Labo	オンライン	中学生 高校生	ライオン	こちら	×
8月8日 (日) 8月9日 (月)	女子中高生夏の学校2021～科学・技術・人との出会い～	オンライン	中学生 高校生	女子中高生理工系キャリアパスプロジェクト (GSTEM-CPP)	こちら	○
8月11日 (水)	Secret behind the internet ～データセンターで活躍する女性たち～	オンライン	中学生 高校生 大学生・大学院生 専門学生 その他の学生	AWS (Amazon Web Services) 夏のリコチャレ2021事務局	こちら	×
8月17日 (火)	夏のリコチャレ(理工チャレンジ)2021～女子中学生のための将来とお金の話～	オンライン	中学生 保護者	野村ホールディングス	こちら	○

男女共同参画の視点を取り込んだ 理数系教科の授業づくり ～中学校を中心として～

啓発資料

教員等の指導者の方々へ向けて、

- 男女共同参画の視点の必要性
- 無意識に持っていた固定概念・考え方や言動への気付き

＜無意識に行っている言動＞

- ・テストの点数の良かった女子生徒に、「女子なのに数学／理科ができて、すごいね」と言葉をかけている
- ・理科の実験授業において、操作は男子、記録は女子、という生徒間の役割分担が自然とできており、それに任せている

- 男女共同参画に配慮した理数授業の事例
- 教員のアドバイスをきっかけに理数系に進んだ女性の事例

等から構成される、啓発資料「男女共同参画の視点を取り込んだ理数系教科の授業づくり～中学校を中心として～」を作成。



▲じゃんけんをしながら確率を計算する様子



▲授業で生徒が作成したイルミネーションの一部



▲生徒が実際に行った板書発表の内容

第3章：H頃のふるまいを振り返ろう

■第3章の目的

この章では、読みが持っているアンコンシャス・バイアス（潜在裡に持っている思い込み）に自ら気づき、男女共同参画の視点を配慮した授業の実現に向けたふるまひや生徒の話し方についてどのように改めると良いかを明確にするための活動を紹介します。
なお、本書の第2章「自分を知らう」に接続して、理科学習法について振り返り、自身のバイアスに気づくための1つの方法です。

『「数学者」を調べてみてくたさい』の解説

自分が習った数学の歴史。以下の観点で振り返ってみよう。

人物	性別	職業・経
発明	用場序 (どこにいるか)	行動 (何をしているか)

○イギリスとアメリカの学校での活動を実施したところ、大多数の生徒が白人で、髪を伸ばし、服を穿き、先着しているが髪を伸ばした男性が、 $1+1=2$ の、おなじ様な文章が書かれた板紙の前に立っている様子を喜んだ。

○近年の研究によると、社会の男女平等が進んでいるにも関わらず、女性を数学者として認識している人は男女とも非常に少ないことが分かってきました。また数学者のみならず科学者についても同様の研究結果が出ています。こうした状況を改善するには、理数分野における女性のロールモデルを周知し、適宜に数学者として認められた女性が活躍したことが重要であると考えられています。

振り返ってみてみてはいかがでしょうか？科学者やその研究者を題材にしたり、生徒と一緒に活躍してみると新たな気づきを得ることができそうです。

【キーワード】男性偏重のアンコンシャス・バイアス

■指導者教育事例

2020年にオーストラリアのビクトリア州で公開された教員研修プログラムに接続されている活動の中から、本書では数学に関する以下の3つを紹介しています。
いずれの活動も他教科にも応用でき、特別な器材等は必要なく、手軽に実施できるのが特徴です。教育センターや各学校現場で実施する教員研修の材料としても取り入れてみて下さい。また、教員と生徒が一層に寄り添いあふるのもありです。授業の一環として取り入れたことも可能です。

NO.	活動名	対象者	活動概要
1	コングラバースと数学	教員	✓ 葛粉的に作成した生徒のプロフィールを見ながら、その生徒の将来について教育を議論する
2	数字に対する態度	教員・生徒	✓ 生徒に向けたアンケートを実施し、教員が結果を分析する（生徒が統計・分析すること可能である）
3	授業の観察	教員	✓ 教員同様の授業を観望し、男女を公平に扱っているかチェックする

出典：Hogben, A. S. (2020). Gender and Mathematics: Supplementary Materials Issues in the Teaching of Mathematics. State of Victoria Department of Education and Training, 2020.



▲男女別グループでの実験の様子

⇒ 文部科学省と連携して普及を図り、教員等の指導者の無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の払しょくに取り組む。

※文部科学省から都道府県教育委員会に対し通知を发出する予定(6月中)。